

# ペナン島ジョージタウン・アルメニアン通りにおける

## 歴史的都市保存プログラムの試み

### ー地域アイデンティティとコミュニティの保存ー

シア メイ チン

キーワード： 地域アイデンティティ、コミュニティ、コミュニティ参加型、建築遺産、歴史的都市保存、ジョージタウン、ペナン

#### 1. はじめに

2008年に世界遺産に登録された歴史的な都市ジョージタウンでは、近年、主に建築遺産の喪失や保存方法に注目した保存活動が行われてきた。一方、世界遺産登録後、土地価格の上昇や不動産ブームによって市内の人口は急速に減少している。また、市内のショップハウスという職住複合建築の住人はテナント（賃貸契約者）であるため、家賃の急激な上昇によって間接的に立ち退きを余儀なくされたケースも少なくない。コミュニティの急速な衰退は、必然的に歴史的な都市の地域アイデンティティの喪失につながるであろう。2010年にペナン島初の保存に関するコミュニティ参加型プログラム（以下、プログラム）が世界遺産のアルメニアン通りの十軒のショップハウスを対象に実施された。このプログラムの目的は、テナントとオーナー双方が納得し合意できる解決策を見つけることであった。

#### 2. 研究目的と方法

本研究の目的は、ア）プログラムの進行過程を記録し理解する、イ）関係者の意見を分析し、プログラムの課題とコミュニティに及ぼした影響を特定する、ウ）歴史的市街地におけるコミュニティ維持のメリットを検討する。筆者は、2011年に建築保存に関わる設計事務所でのインターンシップに参加した際、調査対象地の建築物の改修に関わる機会を得た。本研究では、活動に取り組むプログラムの実施内容の把握や家と場所に対する関係者の意識や感情を理解するために、テナントやオーナーの代表者、プログラムのファシリテーターに対し聞き取り調査を実施した。また、アルメニアン通りの実情を理解するために近隣地域でも聞き取り調査を行った。さらに、建築遺産の保存活動におけるグローバルとローカルの潮流を文献調査から把握した。

#### 3. 結果と結論

プログラムは有形の文化財「ショップハウス」だけでなく、無形の文化財「コミュニティ・地域アイデンティティ」に対しても貢献するといえる。テナントによる空間の使われ方、生活様式や生活史を知ることにより、テナントがアルメニアン通りのアイデンティティを形成する「無形の質」に貢献していることが分かった。コミュニティが場所に「無形の質」を与えると同時に、場所はコミュニティに帰属意識や生計の場、あるいは家族が集まる場を提供することが明らかになった。プログラムはテナントとオーナーの共同参加を通し地域アイデンティティを維持する。プログラムに関しては、将来的にいくつかの課題点における解決策を明確にする必要があるが、概してステークホルダーはプログラムの成果を実感していることが分かった。結論として、保存に関してはコミュニティ参加を通して長い歴史や地域への強い愛着を持つコミュニティを残していくことが最終的に歴史的都市の保存に役立つといえる。